

補助事業番号：19-17

補助事業名：平成19年度国際機械デザイン交流補助事業

補助事業者名：財団法人国際デザイン交流協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

現在、わが国経済は、少子高齢化、グローバル化の進展と国際競争の激化、エネルギー環境制約の高まりなどに直面しており、産業界はこれらの環境変化に対応するため、付加価値の高い商品開発への取り組みが急務となっており、デザインなど知的財産を活用した戦略的経営が益々重要となってきた。とりわけ機械工業におけるデザインの経営戦略への活用は、厳しい国際競争の下で生き残りをかけた不可欠な手段となっている。

このため、国際的なデザインの「情報収集と調査研究」、「国際デザイン・ビジネス創出支援」、「デザイン・ストラテジーフォーラム」の各事業を実施することにより、デザインを基軸とした新商品開発、販路開拓の支援を行うとともに、デザインの経営戦略的活用とそれによる競争力強化を促進する。

また、アジア諸国のデザインインフラ等の情報を収集し、わが国企業に提供するとともに、同諸国とのデザイン関連ビジネスの一層の活性化を推進し、もって我が国機械工業の円滑な経済貿易活動の推進に寄与する。

(2) 実施内容

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1633>

① 情報収集・調査研究

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1633>

職員を東京等国内のデザイン関係機関等に派遣し、デザイン情報の収集を行うとともに、研究員等は本年度のテーマ「アジア太平洋地域の機械デザイン事情（ヴェトナム）」に基づき調査研究を行った。

② 国際デザイン・ビジネス創出支援事業

URL: <http://www.jdf.or.jp/robot2/inquiry.html>

URL: <http://www.jdf.or.jp/robot2/index.html>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1466>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1474>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1475>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1528>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1551>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1552>

国際デザインコンペを実施し、優秀作品を選定した。コンペ優秀作品提案者をワークショップに招聘し、公開のプレゼンテーションを行うとともに、作品に関心ある企業とのビジネスマッチングを行った。ワークショップ終了後も、ビジネスマッチング支援を行うとともに優秀作品について、関心を持つ企業に対して作品の試作と市場導入支援を行った。

③ デザイン・ストラテジーフォーラム

ア、経営者向けセミナー

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1379>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1465>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1529>

海外の優秀なデザイン開発事例とデザインの戦略的活用の成功事例を経営者層に紹介するため、フォーラムを開催するとともに、講演内容を記録した報告書を作成し、全国のデザイン振興機関・デザイン関連団体、デザイン活用に関心のある企業等に配布した。

イ、デザインコーディネーター創出支援事業

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1454>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1579>

ものづくりプロジェクトを企画立案から開発及び市場プロモートまでコーディネートできる能力が必要とされる中で、専門有識者によるレクチャーと受講生との討議を中心に、新しいデザイン機能及び多くの事例、実例によるノウハウ取得を目的として育成講座を立ち上げた。12プログラムの講座を開催し、研究成果を報告書にまとめ関係者等に配布した。

④ アジア太平洋デザイン交流センター事業

ア、アジアデザインビジネス情報発信事業

URL: <http://www.jdf.or.jp/dna/index.php?ln=1>

アジア各地のデザイン情報を収集し、中小企業等に提供することにより、ビジネス振興の一助とする。このため、アジアデザイン&ビジネス情報誌「デザインネットワークアジア：DNA」を、従来の紙媒体の発行を取り止め、本年度から協会のホームページに掲載し、発信した。発信に当たっては、読者の利用しやすいシステムの構築に努めると共に、過去の発行分記事についても提供した。

イ、デザイン活用型ビジネス支援事業

URL: http://www.jdf.or.jp/asia/asia_db_a.html

アジア各国地域におけるデザインビジネス関連の基礎的なインフラ情報を、アジアの各デザイン振興機関の協力を得て収集し、それらをデータベース化し、協会ホームページを通じて発信した。また、そのデータを、「アジアデザイン情報データベース」として冊子にとりまとめ、発行した。

ウ、アジアにおけるデザイン嗜好調査事業

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1539>

URL: <http://www.jdf.or.jp/article/index.php?Mode=article&id=1571>

インドは目覚ましい経済成長とそれによる新興富裕層の台頭が注目されるが、こうした新興富裕層のデザイン嗜好について調査を行った。具体的には、国内関係者の意見を事前に聴取するとともに、9月末には現地ムンバイへ事前出張し、現地の調査コーディネーター等と意見交換を行った。また、11月下旬から12月初旬にかけて、JDF職員、藤本英子京都市立芸術大学准教授の2人がインド（ムンバイ）へ出張し、新興富裕層のデザイン嗜好について本調査を行った。

2. 予想される事業実施効果

① 情報収集・調査研究

アジアのデザイン力は、資金とマンパワーの投入が続いているため、情報ニーズは今後とも高まると予想され、事業の継続実施が必要と思われる。

② 国際デザイン・ビジネス創出支援事業

コンペ優秀作品25点の作品について、企業側とのビジネスマッチングに努めた結果、現在マッチング案件として約30件が進行しており、デザインとビジネスの橋渡しをすることができた。このうち2件については試作品製作の補助を行い、市場導入に関するコンサルティングも行った。今後とも本事業の継続より、コンペを活用した新商品開発に対する効果が引き続き期待できる。

③ デザイン・ストラテジーフォーラム

ア、経営者向けセミナーは、内外のデザイン動向を知る上で従来から情報ソースとしての評価を得ているが、今年度も多数のデザイナー・企業経営者の参加を得ることが出来た。

イ、デザインコーディネーター創出事業は、デザインコーディネーター育成講座を行い、参加者から各回の講義内容によって、課題解決に向けたヒントやアドバイ

スを得る格好の場であり、非常に役立ったとの意見が多く寄せられた。

④ アジア太平洋デザイン交流センター事業

ア、アジアデザインビジネス情報発信事業

既述のとおり、アジアへの進出を企画する企業の、アジア諸国のデザイン力の急速な向上が予想されるため、情報ニーズは一層高まると思われる。

イ、デザイン活用型ビジネス支援事業

アジアのデザイン力の向上に伴い、基礎的な情報も変わっているため、それら情報の更新が欠かせないと予想される。

ウ、アジアにおけるデザイン嗜好調査事業

今回はインドを対象を絞って実施したが、インドはもとより、経済力の向上に伴い彼らのデザイン嗜好も当然変化することが予想される。そうした観点で企業のニーズを見極めながら、必要な調査を行っていくことが求められる。

3. 本事業により作成した印刷物等

① 情報収集・調査研究 該当なし

② 国際デザイン・ビジネス創出支援事業

国際デザインコンペティション2007 B1ポスター	70部
国際デザインコンペティション2007 B3ポスター	2,000部
国際デザインコンペティション2007 A4チラシ	20,000部
新商品開発ワークショップ審査会資料	10部
新商品開発ワークショップ審査会サムネイル資料A3	31部
新商品開発ワークショップ開催案内	3,000部
新商品開発ワークショップ資料(B4資料/18種)	10部
新商品開発ワークショップ資料(A4資料/25種)	300部
2007 国際デザイン・ビジネス創出支援事業 Report	300部

③ デザイン・ストラテジーフォーラム

ア、経営者向けセミナー

第1回デザイン経営戦略フォーラム開催案内	3,000部
第2回デザインストラテジーフォーラム開催案内	1,400部
新商品開発ワークショップ(第3回デザインストラテジーフォーラム)開催案内	3,000部

平成 19 年度デザインストラテジーフォーラム事業報告書 (D S F / 2007 Design Strategy Forum)	300 部
イ、デザインコーディネーター創出支援事業 デザインコーディネーター受講募集案内	1,000 部
平成 19 年度デザインコーディネーター育成事業報告書 (D C P / 2007 Design Coordinate Upbringing Program)	300 部
④ アジア太平洋デザイン交流センター事業	
ア、アジアデザインビジネス情報発信事業	該当なし
イ、デザイン活用型ビジネス支援事業 アジアデザイン情報データベース 2008 (Asian Design Information Database 2008)	250 部
ウ、アジアにおけるデザイン嗜好調査事業 平成 19 年度インド・デザイン嗜好調査 (ムンバイ) 実施報告書	80 部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 財団法人国際デザイン交流協会 (コクサイデザインコウリュウキョウカイ)

住 所 : 530-0001

大阪市北区梅田 1 丁目 3 - 1 - 8 0 0

代 表 者 : 会長 野村 明雄 (ノムラ アキオ)

担当部署 : 総務部 (ソウムブ)

担当者名 : 清水明子 (シミズ アキコ)

電話番号 : 06-6346-2611

F A X : 06-6346-2615

E-mail : info@jdf.or.jp

U R L : <http://www.jdf.or.jp>